事務事業評価シート　平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

所管課	市民生活課	担当班	市民生活支援班

事務事業名	コード	3500	姉妹都市宿泊助成事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	2	1	7

施策体系						
基本施策	17	交流の促進	根拠法令	旭市姉妹都市宿泊費助成金交付要綱		
施策の展開	32	自治体間交流の促進	戦略事業	155	旭市姉妹都市宿泊助成事業	
施策の展開			戦略事業			

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☑ 平成 22 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成　年度～ 平成　年度まで	・市民がレジャーなどで姉妹都市にある宿泊施設を利用し、宿泊終了日から60日以内に申請した場合に、宿泊費用の一部を助成し、姉妹都市への訪問を促し、住民相互の交流を推奨する。 ＜助成対象者＞市の住民基本台帳に登録されており、市税等の滞納がない者。 ＜助成金額＞宿泊費の1/2以内で、1人1泊当たりの上限は大人（中学生以上）3,000円、小人2,250円、未就学児1,750円。 一会計年度内2泊まで ※現在、長野県茅野市のみが対象。沖縄県中城村は、対象となる宿泊施設がないため、実績なし。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
・平成21年度に廃止した旭市山の家（長野県茅野市）の代替策として、平成22年度に開始した。 ・茅野市が平成8年度から実施している旭市締結宿泊施設の利用助成金額を参考にしている。	・平成23年度の東日本大震災で市民が被災し、旅行する市民が一時減少したと考えられるが、平成25年度以降は景気回復への期待が高まっており、旅行をする市民が増えたと考えられる。	・茅野市は遠く、移動時間がかかる。助成はありがたいが、旅行は宿泊費以外にもお金がかかってしまう。 ・茅野市は空気がおいしく、夏は白樺湖や山、冬はスキー等1年を通じて楽しめる。助成金を利用し定期的に行きたい。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（29年度の決算）　単位：千円

1.負担金補助及び交付金	822	姉妹都市宿泊助成金
2.需用費	10	消耗品費

② 特定財源の内訳（29年度の決算）　単位：千円

1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

前年度増減理由	宿泊助成利用者の減

		単位	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 負担金補助及び交付金	千円	1,131	864	1,157	822	1,172
	2. 需用費	千円	15	11	11	10	15
		千円					
		千円					
		千円					
事業費計（A）		千円	1,146	875	1,168	832	1,187
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	1,146	875	1,168	832	1,187

従事職員数	常時	1 人	最大	人 ×	日 ＝	延べ	0 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

29年度実績（29年度に行った主な活動）

・市広報紙、HPに事業案内を掲載
・市内小中学生、保育所児童等にチラシを配布
・助成金の交付

⇨

	③ 活動指標名	単位	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（計画）
ア	市HP・広報紙による広報回数	回	2	2	2	2	2
イ	チラシの配布枚数	枚	7,972	7,830	8,100	7,805	7,800

目的

	② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）
対象	・市民
意図	・姉妹都市にある宿泊施設を利用する。
対象	
意図	

⇨

	④ 成果指標名	単位	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（計画）
ア	助成金の交付を受けた者の延べ人数	人	398	316	412	304	415
イ							

(4)事務事業優先度評価の結果

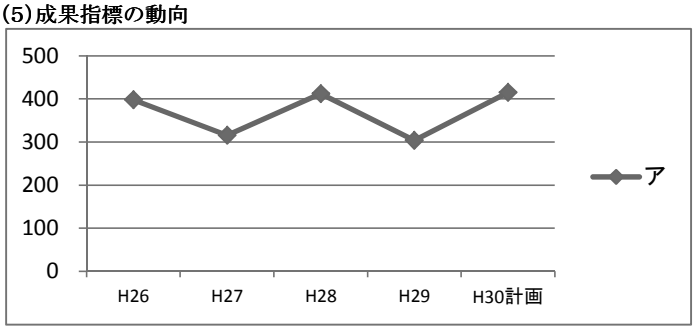
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②③	(2)		
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

成果指標ア	成果指標のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☐ 横ばい ☑ 低下
成果指標イ				☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下

【コメント】（低下の場合、その理由）

団体・グループでの利用が減少したため。

成果動向	比較	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30計画
	ア	183	△82	96	△108	111
	イ					

③ 今年度取組事項（30年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
	例年どおり実施

今後の方向性
- ☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し
- ☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　　）

H30年度：住民相互の交流を図ることから茅野市に旭市ガイドブック等を送付し、旭市への宿泊PRを行う。